

神話の源流

心身の休息をえる

新富の旅

くはじまりの物語

神話の源流へ。
宮崎県

神話の源流へ。～みやざき神話ストーリー～

日向三代

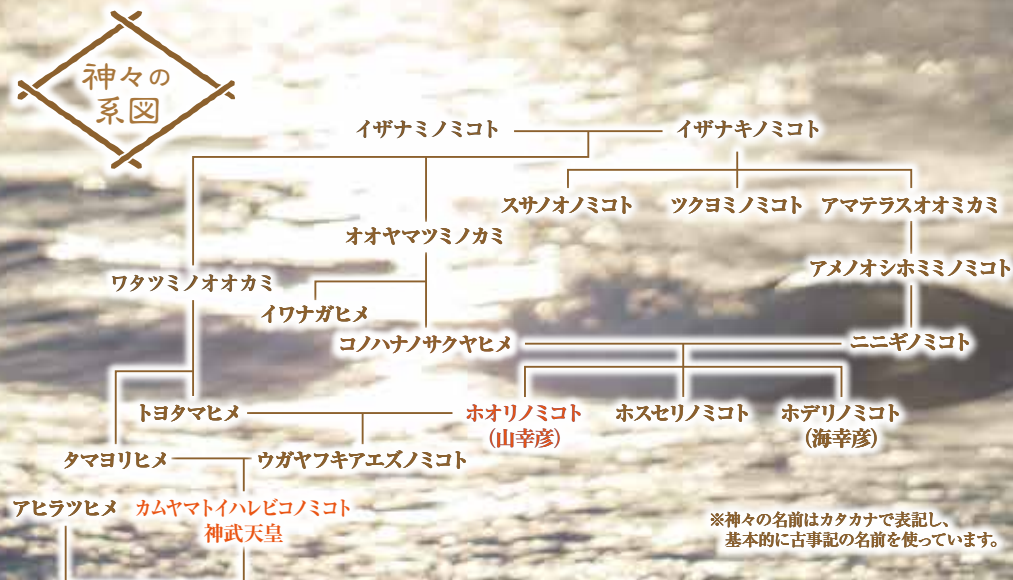
天上界のアマテラスオオミカミから地上界を治めるように命をうけ、お供の神々と竺紫の日向の高千穂にそびえる峰に降り立ったニニギノミコト。ここから日向三代の物語が始まります。

ある日、ニニギノミコトは山の神の娘・コノハナノサクヤヒメに出逢い、あまりの美しさに一目惚れしてしまいます。結ばれた二人の間には、ホデリノミコト（海幸彦）、ホスセリノミコト、ホオリノミコト（山幸彦）の3人の皇子が生まれます。

海幸彦と山幸彦は、それぞれ海と山の獲物を獲って暮らしていましたが、お互いの道具を取り替えることにしました。ところが、山幸彦は獲物が全く獲れないばかりか、海幸彦の大事な釣り針をなくしてしまいます。釣り針を探しに海神の宮へ行った山幸彦は、海の神の娘・トヨタマヒメと出逢い、3年の時を楽しく過ごしました。無事に釣り針を探し出し、地上の世界へ戻った山幸彦のもとに、山幸彦の子を身ごもったトヨタマヒメが訪ねてきます。大急ぎで鶴の羽を葺いて産屋を作り始めましたが、完成しないうちに御子が生まれ、ウガヤフキアエズノミコトと名付けられました。成長したウガヤフキアエズは、叔母のタマヨリヒメと結婚し、4人の皇子を授かります。

4兄弟の末弟のカムヤマトイハレビコノミコトは、高千穂の宮で過ごしていましたが、平安に政治が行える場所を求めて旅立ち、幾多の苦難を乗り越え、ついに大和の橿原宮で天下を治めることになりました。

天上界の神々が日向の地に降り立ち、初代神武天皇となるイハレビコが旅立つまでの物語を巡る旅をはじめましょう。



ホオリノミコトとイハレビコの物語が息づく新富へ

- 地名に残る神々の足跡を訪ねるP.4
- カムヤマトイハレビコ（神武天皇）の足跡を辿るP.6
- 神代から古代へ。古代ロマンあふれる古墳の世界を体感するP.8

時間が見える町

夏の一日、新富町を案内して頂いた。新田原古墳群を前にした時、とても二十一世紀とは思えない風景に呆然とした。二百基に近い古墳が現存していると聞いても、まったくイメージできなかったけど、こういうことか。本当に古墳時代に戻ったみたいだ。ところが、その上空を航空自衛隊新田原基地の戦闘機が次々に横切ってゆく。なんともSF的なエリアなのだ。古墳も戦闘機も、それぞれの時代の人間が知識と技術を結集して作ったものだろう。ここでは千数百年の時を超えて両者が共存しているのだ。古墳や戦闘機に託された人類の願いとは何だろう、と考えてしまう。

総合交流センターには、古墳から出土した埴輪が展示されていた。服の裾を自らめくっているような女性の像があって驚く。踊りによるトランス状態で性器を露出しているのではないか、との解説があった。もしそうなら、天岩戸伝説が伝えるところのアメノウズメの踊りそのものではないか。だが、本で読むのと実際に埴輪の形で見るとでは大違いだ。その姿に生々しい神話の息遣いを感じる。

新田神社では宮司さまのお話を伺うことができた。鬼神の面をつけて蛇に見立てた荒縄を切る蛇切など、神話を具現化したような神楽が興味深い。蛇切の演目はヤマタノオロチ退治に由来するものだろうか。安政5年頃から伝わる鬼神の面の実物も拝見できたのだが、右の角が折れていた。いや、よく見ると折れたのではなく切断されて

いるのだ。「神楽合戦で負けて切られたらしいんです。拍手の量で勝敗が決まるから」とのこと。ひええ、と思う。大事な角を切られちゃうなんて鬼もたいへんだなあ。

水沼神社でも宮司さまのお話を伺えた。「こちらの神楽には蛇切はありません。蛇の化身である竜神様を祀っていますから」とのこと。なるほどと納得した。池を覆った見事な蓮の姿を見ながら、虫捕り遊びのことを教えてもらう。笹の輪に蜘蛛の巣を張った網で虫を捕らえて蓮の葉で作った虫籠に入れるのだ。凄いなあ。遊びのすべてが自然のもので成り立っている。「蓮と同じように子どもにもお日様を浴びる光合成が大事だと思います」と保育園の園長先生でもある宮司さまはおっしゃっていた。

最後に富田八幡神社に寄ってみた。たくさんの絵馬には子どもたちの将来の夢が書かれていた。

「わたしはタカラヅカの男役トップスターになりたいです」

「ぼくは虫はかせになります」

すごく具体的で面白い。次々に絵馬をひっくり返して読んでしまった。この子たちは二十二世紀を見るのかもしれない。古墳は、埴輪は、鬼神の面は、戦闘機は、虫捕り遊びは、その時どうなっているのか。もしも今、私が子どもだったら、と考える。絵馬にはどんな夢を書きだろう。

歌人 穂村 弘



【執筆者紹介】

穂村 弘

歌人。1962年札幌生まれ。1990年に歌集『シンジケート』でデビュー。短歌のほかには評論、エッセイ、詩、絵本、翻訳等を手がける。著書に『手紙魔まみ、夏の引越し（ウサギ連れ）』『世界音痴』『本当はちがうんだ日記』『こよっ記』『君がいない夜のごはん』『絶叫委員会』『ぼくの短歌ノート』など。『短歌の友人』で伊藤整文学賞、『鳥肌が』で講談社エッセイ賞、『水中翼船炎上中』で若山牧水賞を受賞。日経新聞歌壇選者。

地名に残る神々の足跡を訪ねる



ホオリノミコトが開いた「新田」

新富町には、ホオリノミコト（山幸彦）にまつわる地名が数多く残されています。ちょっと変わった読み方をする「新田」、町の西部に位置するこの一帯をホオリノミコトが新たに切り開いたことがその地名の由来だとされています。

また、海神宮から帰ってきて宮居を構えた場所とされる「ひもろぎの里」には、ホオリノミコトが衣の紐を解いたと伝わり「ひほりけ*」と呼ばれています。

地域の人々によって大切に語り継がれた、地名にまつわる神々の物語を探しに出かけましょう。

*紐解けが訛ったという



拝殿の後ろに御神体の池が広がる



鮮やかに映える朱塗りの社殿

地域で慕われる水と農耕の神

みずぬま
水沼神社

水の神・ミズハノメノカミ、雨を司る神・クラオカミノカミ、雷の神・ナルイカヅチノカミの三柱を祀り、水と農耕の神社として親しまれています。安産や防火などの祈願に町内外から参拝客が訪れます。

〒新富町日置679 ☎0983-33-3452

ハスの花とレンコンも名物

こみずが いけ
湖水ヶ池

水沼神社の裏に広がる周囲約1kmの池。龍神伝承が残る「子見ずの池」がその名の由来となっています。夏には池一面に深緑の蓮の葉と真っ白な清廉な花が咲き誇り、人々の目を楽しませてくれます。

〒新富町日置 ☎新富町産業振興課 ☎0983-33-6029



夏はハスの葉の緑と白い花が水面を覆う。

山幸彦が船着した場所

ふなつ
船津神社



細い農道沿いにあるので車は注意を

〒新富町新田 ☎新富町産業振興課 ☎0983-33-6029

一ツ瀬川沿いの舟津地区にあり、田園地帯の中にひっそりと建っています。ホオリノミコト（山幸彦）がここに舟を着けて上陸したという言い伝えが、この地名の由来となっています。

山幸彦に縁深い新田の鎮守社

にゅうた
新田神社



新田原台地の麓に位置する

〒新富町新田10006 ☎0983-35-1601

旧称正八幡宮の名残から、今でも八幡様と呼ばれ、新田の鎮守の神として親しまれています。夏祭りの御神幸行列では、「いぶくろ」と呼ばれる赤と白の面を着けた二人が青竹を持って先導し、この竹で撫でられると病気やけがが治ると言われています。

周辺観光info

離発着する航空機は迫力満点

にゅうたばら
新田原展望広場



迫力ある訓練風景が醍醐味。

航空自衛隊新田原基地に隣接する展望広場で、間近に航空機を見ることができます。年に一度開催される新田原基地航空祭は、県内外から多くの航空ファンや見物客が訪れます。

〒新富町三納代 ☎新富町都市建設課 ☎0983-33-6017



カムヤマトイハレビコ（神武天皇）の足跡を辿る



休息の地と伝わる「湯之宮」

高天原から地上へと降り立ったニニギノミコトから数えて4代目、カムヤマトイハレビコノミコト（後の神武天皇）は、兄のイツセノミコトと相談し、平安に国を治めることのできる土地を求めて東へ旅立ちます。高千穂宮を出発した一行は途中、この地に立ち寄り、湯浴みをされたと言われます。

ひとときの休息の後、再び旅立ったイハレビコ。その足跡を訪ね、心身の疲れを癒し、次の一步を踏み出してみませんか。

湯之宮神社

神武天皇が湯浴みし一息ついた場所



湯之宮神社

ニニギノミコトが降臨された際に道案内したサルタヒコを御祭神としています。境内には、神武天皇が東征の途中で湯浴みをされた湯槽の跡と伝わる神井があり、かつて湯が湧き出ていたと言われています。

☎新富町新田18633-2 ☎0983-35-1601



御神木の巨樹が立つ苔むした境内は神秘的



今でも清水が湧き出るという神井

幼い神武天皇の思い出の地



下富田神社



日向灘に向かって建つ海の守り神

☎新富町下富田455 ☎0983-33-5934

王子の浜とよばれる海辺に鎮座し、幼少期の神武天皇の遊行の御跡と伝わります。御祭神のシオガマノオオカミ（シオツチノオジ）は、日本書紀では神武東征の助言をした神様として知られています。

歴史ある梅の名所



湯之宮座論梅



立ち昇るような枝に白い花を咲かせる吹いたと言われています。2月初旬に白色一重の清楚可憐な花が咲き誇り、この時期に開催される「梅まつり」は多くの人で賑わいます。

湯之宮神社の向かいにあり、国の天然記念物に指定されています。神武天皇が湯浴みされた際、杖を突き立てたままお立ちになり、それが芽

☎新富町新田 ☎新富町生涯学習課☎0983-33-1022

周辺観光info

県内有数の産卵地「富田浜」



アカウミガメ

日向灘沿岸部は、アカウミガメの産卵地としても知られ、富田浜海岸もその一つです。5月から8月頃にかけて、産卵のために上陸し、50日ほど経つと孵化した小ガメたちが一斉に海に帰っていきます。

☎新富町日置 ☎新富町生涯学習課☎0983-33-1022



絶滅危惧種のアカウミガメ

伝統あるボート競技大会



しんとみレガッタ



チーム一丸となり水上を走る爽快感が魅力

富田浜の入り江には漕艇場があり、ボート競技の拠点となっています。毎年8月に開催される「しんとみレガッタ」には町内外から多くの参加があり大いに盛り上がります。

☎新富町日置富田浜入江 ☎新富町生涯学習課☎0983-33-1022



神社



見どころ



温泉

神代から古代へ。 古代ロマンあふれる 古墳の世界を体感する



新田原古墳群

『古事記』『日本書紀』には、御刀媛や髪長媛など日向の姫と天皇との婚姻譚が記されています。

一方、古墳時代になると日本各地に様々な古墳が築かれ、宮崎平野には今でも多くの古墳が残されています。前方後円墳をはじめとする大小の古墳は、この地域の当時の繁栄とともに畿内との繋がりを感じさせてくれます。

築造時代に近い状態で残された古墳が田園地帯に点在する景観は、地域の人々によって大切に受け継がれ、私たちに古墳時代の世界を伝えてくれます。

記紀の物語とともに古墳群を巡れば、神話の旅がさらに奥深いものになるでしょう。

畿内勢力との繋がりを 感じさせる古墳群



新田原古墳群

国指定史跡。一ツ瀬川左岸の台地に前方後円墳や円墳など197基の古墳が現存しています。古墳時代前期から後期にかけて多くの前方後円墳が築かれ、当時、南九州で相当の勢力を誇っていたと考えられています。

☎新富町新田

☎新富町生涯学習課 ☎0983-33-1022



歩いて間近で古墳の世界を体感したい



当時の生活や文化を伝えてくれる埴輪

埴輪 (新富町総合交流センター「きらり」)



墳長約80mの百足塚古墳からは、人物、動物、家などをかたどった形象埴輪が多く出土しています。なかでも神楽の起源とされるアメノウズメの舞を表現したかのような埴輪はとてもユニーク。新富町総合交流センター「きらり」に展示されています。

☎新富町上富田6345-5

☎新富町生涯学習課 ☎0983-33-1022



日本遺産

新田原古墳群は、西都原古墳群(西都市)や生目古墳群(宮崎市)とともに、「日本遺産」に認定されました。それぞれの古墳群は、周囲に建築物がほとんどなく、築造時代に近い状態の景観が今も保たれています。



参道には貝の化石群



久家神社

鳥居後ろの巨大な岩をくぐった先に社殿がある独特の外観。岩は海底が隆起したもので、約200万年前の貝の化石を見ることができます。岩をくぐると神秘的な雰囲気に包まれます。

☎新富町日置

☎水沼神社社務所 ☎0983-33-3452



ツキガイモドキなど太古の化石がびっしり

周辺観光Info

掛け流しの湯で旅の疲れを癒す



新富町温泉健康センター サン・ルピナス

泉質は老化防止や美肌効果、生活習慣病の改善に効果があると言われていています。大浴場や露天風呂などのほか、無料で楽しめる足湯もあり、併設の直売所には新鮮な野菜が並んでいます。

☎新富町三納代1859-1

☎ ☎0983-33-1000



独特の匂いからも効能が期待できそう



見どころ



温泉

新富の特産品

豊かな自然とそこに息づく文化が育んだ逸品たち——。神話の旅と一緒にいかがですか？

野菜

きゅうりやピーマンなどの施設野菜をはじめ、様々な農作物が栽培されています。県内有数の産地となっているズッキーニは、多彩な料理にアレンジでき、注目の野菜の一つです。



果物

希少な国産の生ライチは、5月中旬から7月中旬に収穫の時期を迎え、白く透き通ったぷりぷりの果肉とあふれんばかりの果汁が特徴です。温暖な気候を生かして、マンゴーやメロン、梨などの生産も盛んで、町内の直売所には旬のフルーツが並びます。



お茶

年間を通して日照率が高いこともあり、古くからお茶の産地となっています。町内には複数のお茶専門店も。恵まれた環境の中で育った芳香なお茶を一度味わってみませんか。

新富そば

県内でも有数のそばの産地で、10月になると町内各地でそばの白い花が咲き誇ります。町内の専門店では、挽き立て、打ち立ての香り高いそばを味わうことができます。



うなぎ

清流・一ツ瀬川が流れる新富町は、養鰻業が盛んな町です。素材や焼き方にこだわった老舗店には、夏になると町内外から多くの人々が訪れ、その味を堪能します。

湖水ヶ池のレンコン

江戸時代に高鍋藩主が殖産のために大和産のれんこんを持ち込み、水沼神社の裏にある水沼池（湖水ヶ池）で栽培したのが始まりと言われていています。「水神様の糸引きレンコン」と呼ばれ、粘りのある独特の食感は地元でしか味わえない貴重な味です。



新富の神楽

新富町内には主に新田神楽、日置神楽、富田神楽、三納代神楽が伝わっています。江戸時代、佐土原藩と高鍋藩の2つに分かれていたため、同じ町内でありながら、各神楽の特徴に違いが見られます。

新田神楽 県指定無形民俗文化財

新田神社に伝わる新田神楽は、毎年2月17日の春の大祭や地区の祭りでは奉納され、県内の春神楽を代表する神楽の一つとなっています。八岐大蛇（やまたのおろち）退治をもとにした演目「綱切（つなぎり）」は、大蛇に見立てた藁縄を真剣でぱっさり切ると切る圧巻の舞で、多くの神楽ファンを魅了します。



三納代神楽 県指定無形民俗文化財

県指定無形民俗文化財の高鍋神楽を構成する神楽の一つで、三納代八幡神社の大祭や地区の祭りで奉納されるほか、旧暦12月には輪番で高鍋神楽六社連合大神事が行われます。甲冑を着け弓矢を用いる勇壮な舞などが特徴。

神楽の奉納

新田神楽	期日: 2月17日
	場所: 新田神社
日置神楽	期日: 中秋の名月 (旧暦8月15日)
	場所: 水沼神社
富田神楽	期日: 11月9日
	場所: 富田八幡神社
三納代神楽	期日: 1月1日
	場所: 三納代八幡神社

※上記のほか、各地区の祭りや神社などでも奉納されます。

新富MAP



おすすめ観光ルート

新富の魅力がたっぷり味わえる
とおきのスポット満載ルート

ホオリノミコトとイハレビコの物語に想いを馳せながら、
心身ともにリフレッシュする旅へ出かけよう！

コース1/

START
西都I.C

車で
約20分

久家神社



詳細P.9

車で
約2分

水沼神社



詳細P.5

徒歩
約1分

湖水ヶ池



詳細P.5

車で約8分

下富田神社



詳細P.7

車で
約10分

新富町温泉健康センター
サン・ルピナス



詳細P.9

コース2/

START
西都I.C

車で
約15分

湯之宮神社



詳細P.7

徒歩
約1分

湯之宮座論梅



詳細P.7

車で
約5分

新田原展望広場



詳細P.5

車で約8分

船津神社



詳細P.5

車で
約8分

新田神社



詳細P.5

車で
約10分

新田原古墳群

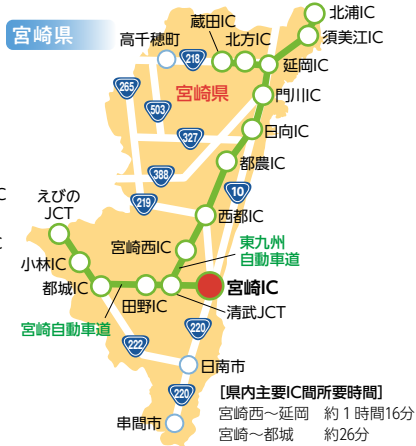
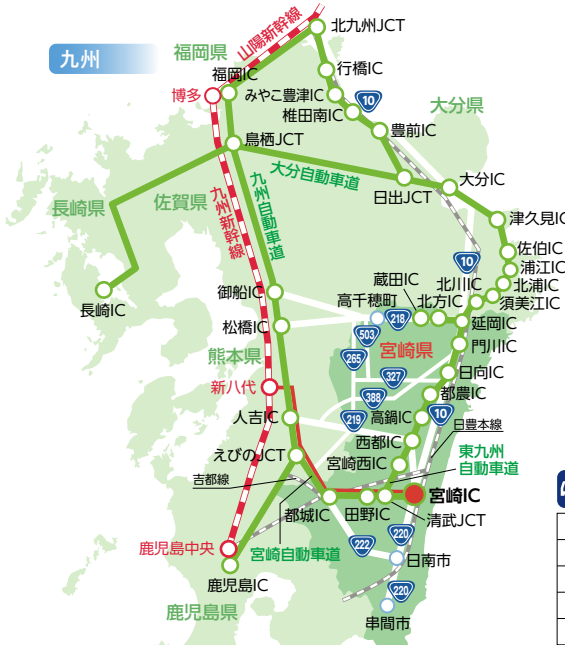


詳細P.9



交通アクセス

※2021年1月現在の情報です



高速バス

宮崎交通 ☎0985-32-1000

鹿児島 → 宮崎	約2時間45分	はまゆう号
熊本 → 宮崎	約3時間25分	なんぶう号
大分別府 → 宮崎	約3時間45分	パンフィックライナー
福岡 → 宮崎	約4時間20分	フェニックス号
長崎 → 宮崎	約5時間20分	ブルーロマン号

【県内主要IC間所要時間】
 宮崎西～延岡 約1時間16分
 宮崎～都城 約26分

新幹線・JR特急

JR宮崎駅 ☎0985-23-3454

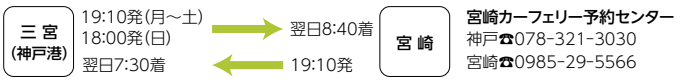


空路 (宮崎ブルーゲンビア空港)

東京(羽田) → 宮崎	約110分	ANA、JAL、ソラシドエア
東京(成田) → 宮崎	約130分	ジェットスター、Peach
名古屋(中部) → 宮崎	約90分	ANA、ソラシドエア
大阪(関西) → 宮崎	約70分	Peach
大阪(伊丹) → 宮崎	約70分	ANA、JAL
福岡 → 宮崎	約45分	ANA、JAL、ORC
沖縄(那覇) → 宮崎	約80分	ソラシドエア
ソウル(仁川) → 宮崎	約100分	アジアナ航空
台北(桃園) → 宮崎	約120分	チャイナエアライン

全日空(ANA) ☎0570-029-222	ジェットスター ☎0570-550-538
日本航空(JAL) ☎0570-025-071	オリエンタルエアブリッジ(ORC) ☎0570-064-380
ソラシドエア ☎0570-037-283	アジアナ航空 ☎0570-082-555
Peach ☎0570-001-292	チャイナエアライン ☎0985-64-9811

カーフェリー (宮崎港)



宮崎県 総合政策部 記紀編さん記念事業推進室

〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号 電話:0985-26-7099

神話のふるさと みやざき

Facebook 「神話のふるさと みやざき」